

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2023年11月10日

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億円

社長：鈴木 友康

売上：9億9,475万円（2023年3月期）

社員数：33人（2023年9月30日現在）

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

ぷらっとホームの事業領域

当社ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

PHYSICAL WORLD



IoT デバイス・センサー

IoT ゲートウェイ

クラウドサービス

あらゆるデバイスをインターネットへ
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス
IoT事業

CYBER WORLD



AirManage2

デバイスリモートマネジメントサービス

DEXPF™

IoTのトラストなデータ流通を実現

デバイス管理・リモート管理
データ流通・伝送基盤

より利便性の高い社会の実現へ
地方公共団体・電力会社
交通・物流・公共施設

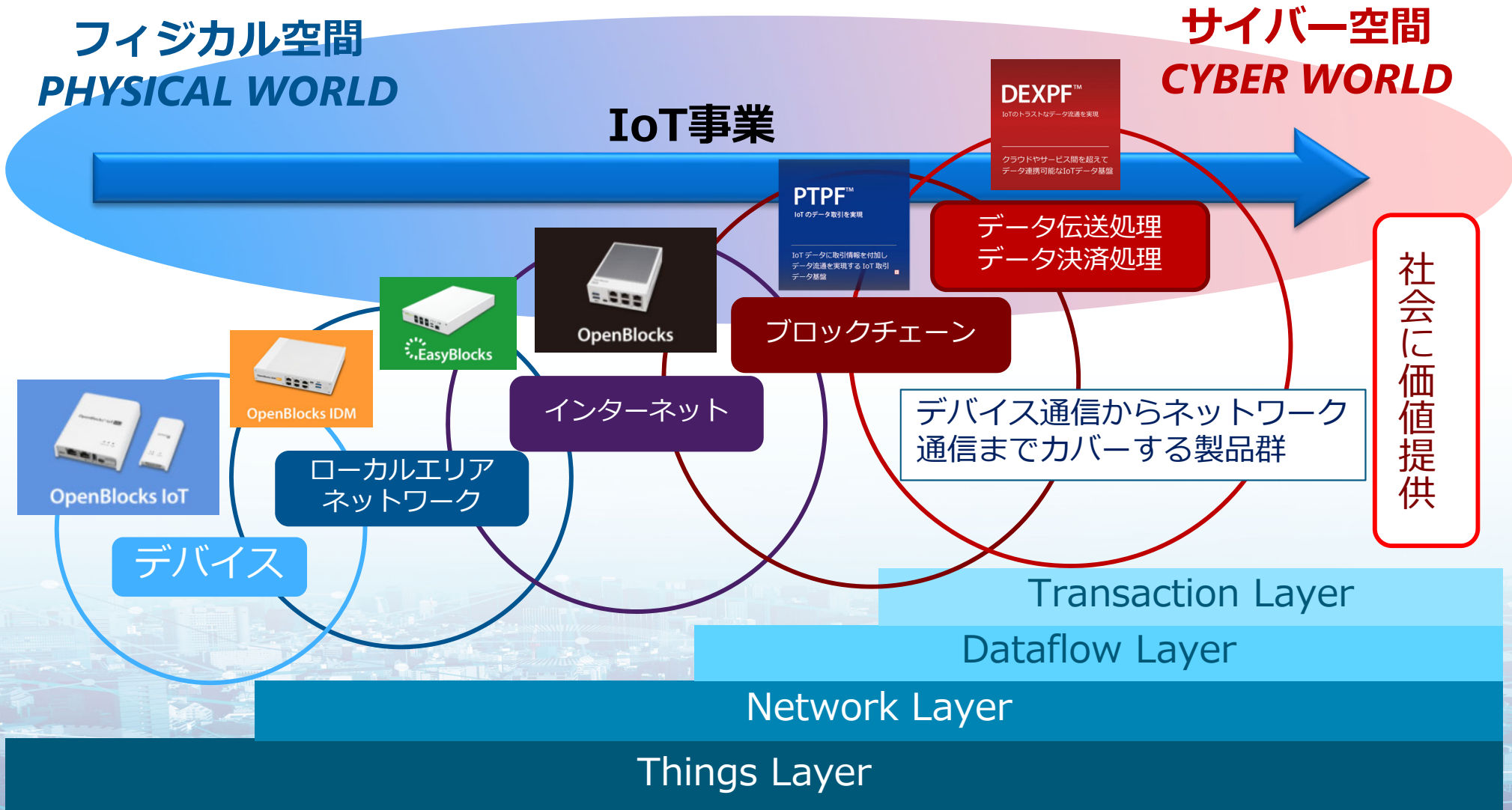
より豊かなくらしづくりの実現へ
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ
地方公共団体・教育機関・医療機関
警備・保険・セキュリティ

当社が培ってきたIoT事業を核に周辺領域へ事業を拡大

ぷらっとホームの事業領域

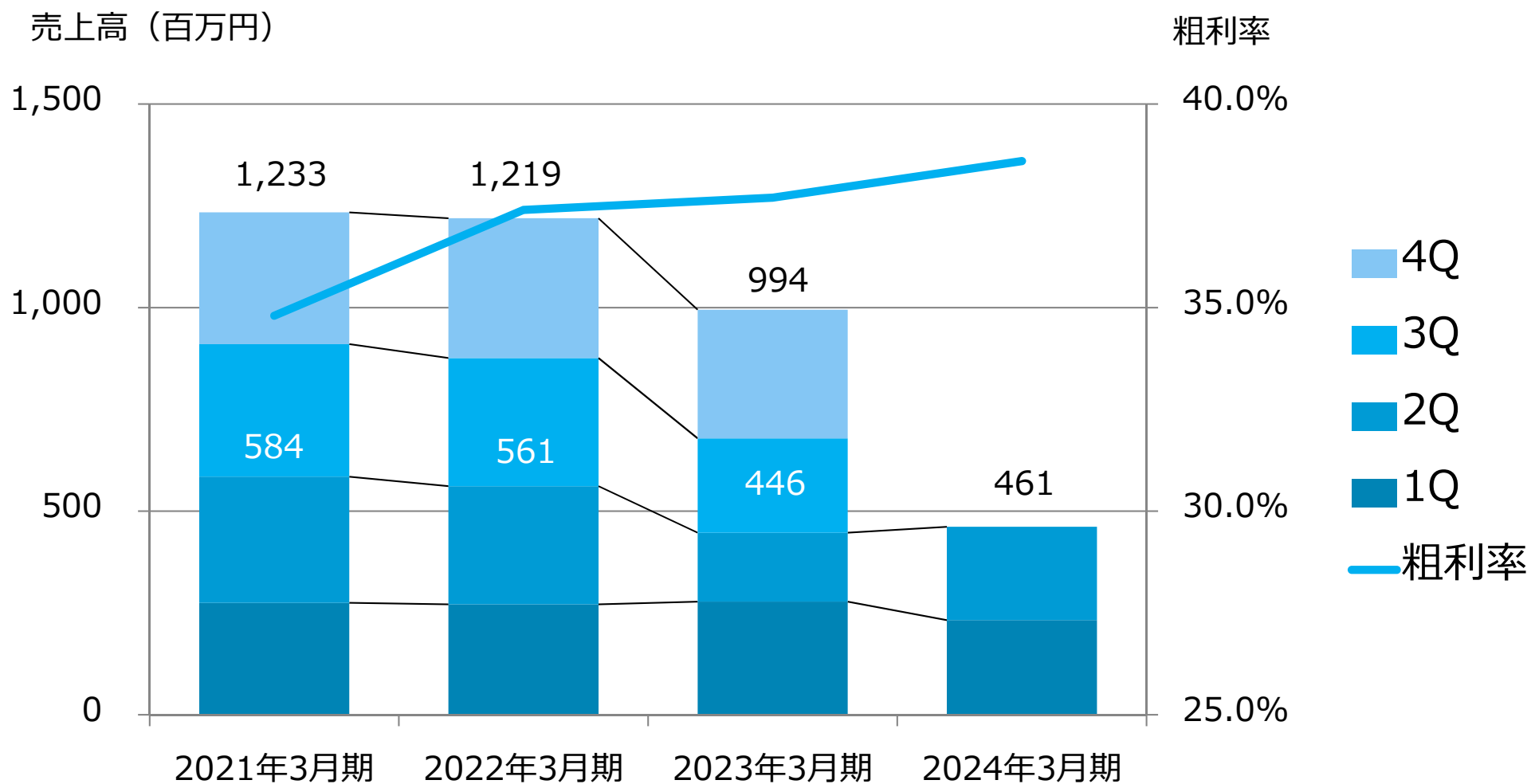
「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」



Financial Results 2023

2023年度の業績

売上高の推移



品目別の状況

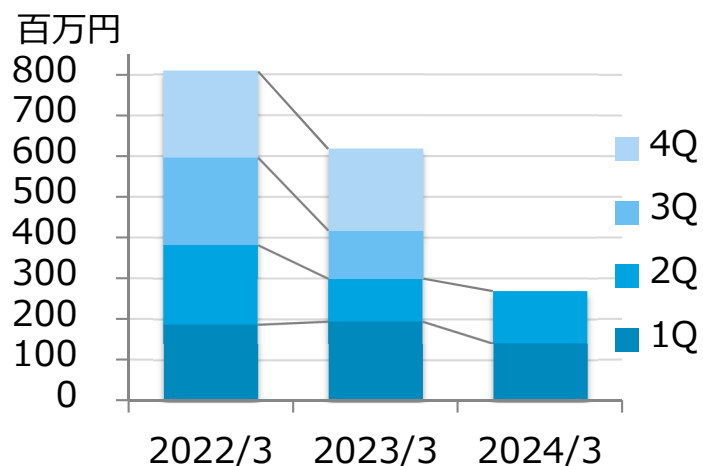
売上高	2023年3月期 2Q		2024年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	446	100.0	461	100.0	14	3.3
自社製品コンピューター	241	54.1	213	46.2	△ 28	△ 11.9
コンピューター関連商品	98	22.1	131	28.5	32	33.3
サービス・その他	106	23.8	116	25.3	10	9.9

粗利益	2023年3月期 2Q		2024年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	粗利率	金額	粗利率	増減額	増減率
粗利益	175	39.4	178	38.6	2	1.2
自社製品コンピューター	83	34.7	77	36.5	△ 6	△ 7.3
コンピューター関連商品	24	24.4	30	23.2	6	26.7
サービス・その他	67	63.9	69	59.7	1	2.7

(単位 百万円未満切捨、%)

IoT事業の推移

IoT事業の売上高



	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
	2Q	2Q	増減額	増減率
売上高	金額 299	金額 268	△ 30	△ 10.3
マイクサーバ-製品	244	214	△ 29	△ 12.1
IoT事業サービス	54	53	△ 1	△ 2.3
売上総利益	136	129	△ 7	△ 5.3
粗利率	45.7%	48.3%	+2.6p	

(単位 百万円未満切捨、%)

半導体不足による部材供給の滞りの影響が続いていることに加え、前年同期にあった第一世代製品の大口出荷の減少により前年同期に比べ減少

損益計算書

	2023年3月期 2Q		2024年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	446	100.0	461	100.0	14	3.3
売上総利益	175	39.4	178	38.6	2	1.2
販管費	242	54.3	244	53.1	2	0.9
営業利益	△ 66	△14.9	△ 66	△ 14.5	△ 0	—
経常利益	△ 67	△15.0	△ 66	△ 14.5	0	—
当期純利益	△ 72	△16.3	△ 70	△ 15.4	1	—

半導体部品の供給不足の影響が解消されていないものの、全体の売上高は増加

(単位 百万円未満切捨、%)

貸借対照表

	2023年3月		2023年9月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	225	31.5	269	38.7	44	19.6
売掛金及び 契約資産	168	23.6	99	14.2	△ 69	△ 41.2
棚卸資産	247	34.7	265	38.2	18	7.4
その他	23	3.3	11	1.7	△ 11	△ 49.2
流動資産	664	93.1	646	92.9	△ 18	△ 2.8
固定資産	49	6.9	49	7.1	—	—
資産合計	713	100.0	695	100.0	△ 18	△ 2.6
流動負債	213	29.9	265	38.2	52	24.5
固定負債	36	5.1	36	5.3	0	0.6
負債合計	250	35.0	302	43.5	52	21.0
純資産合計	463	65.0	392	56.5	△ 70	△ 15.3
負債純資産合計	713	100.0	695	100.0	△ 18	△ 2.6

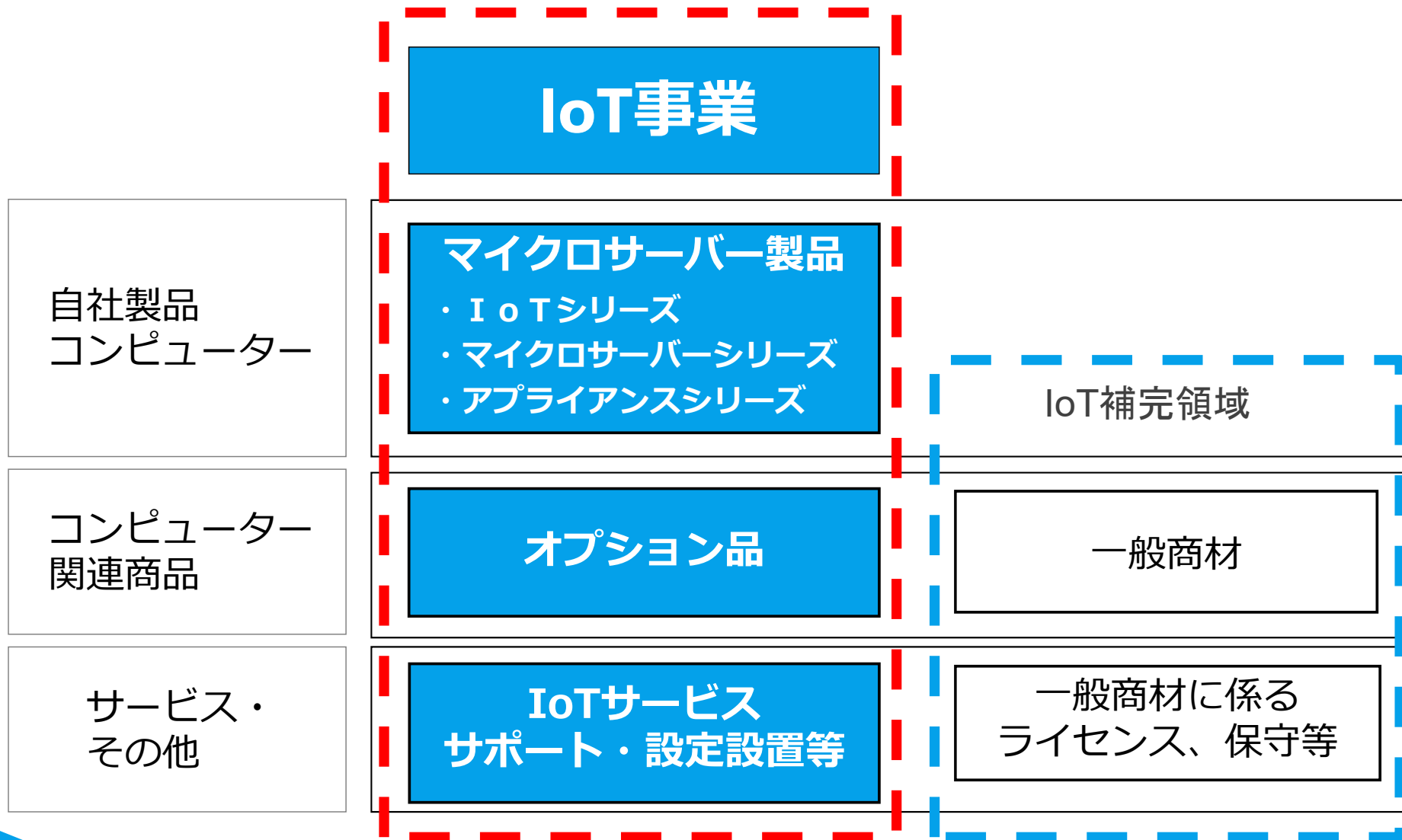
主な内訳
 ■商品及び製品 19百万円
 ■原材料 246百万円

(単位 百万円未満切捨、%)

2023年度における当社事業

～ハードウェア中心の従来型事業から
ソフトウェア・サービス型事業への転換

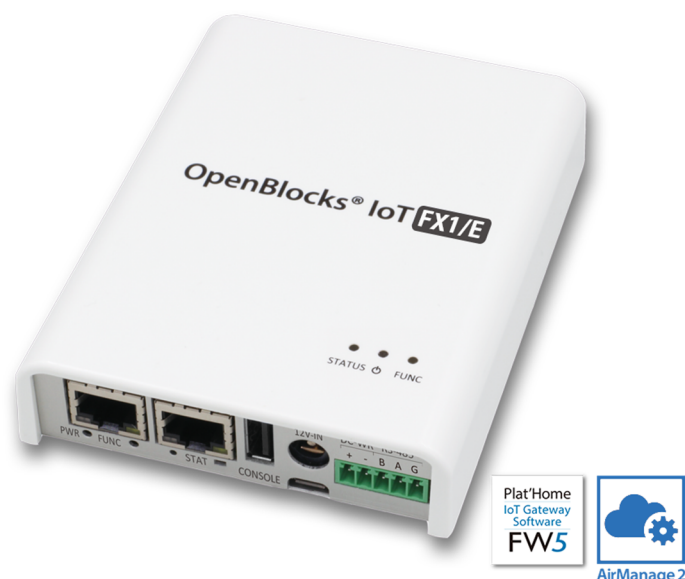
事業構成



第二世代製品のモデル追加

コネクテッドな時代の顧客のユースケースに柔軟に対応可能な、マイクロサーバ/IoT第二世代製品群の投入を前倒し実行

IoTゲートウェイ **OpenBlocks IoT FX1/E**



「OpenBlocks IoT FX1」の処理性能や安定性、またPoE対応等の利便性は変えることなく、ストレージを必要十分な容量にすることで、低価格に抑えた新製品

ノーコードでIoTデバイスや主要クラウドと接続するFW5を搭載
データ利活用のさらなる促進と、IoT技術のより容易な導入をサポート

従来型事業からの転換

ハードウェアで培った技術と実績をソフトウェアで幅広く展開

IoT・マイクロサーバー・ネットワーク製品



OpenBlocks

小型かつ堅牢
可用性の高いマイクロサーバー



OpenBlocks IoT

最先端ソフトウェアFWを搭載
したIoTゲートウェイ



EasyBlocks

シンプルに構築できる
ネットワークアプライアンス



OpenBlocks IDM

BIツール・ハードウェア一体型
IoT専用サーバー



**ハードウェア中心の事業形態から
ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ**

IoTサービス・ソフトウェア製品



AirManage2

デバイスリモートマネジメントサービス

IoTゲートウェイをリモート
一括管理・制御・拡張

Plat'Home
IoT Gateway
Software
FW5

IoTセンサー・デバイスとの
プログラミングレスを実現する
IoTゲートウェイソフトウェア

IoTプラットフォーム製品



PTPF™

IoTのデータ取引を実現

IoTデータに取引情報を付加し
データ流通を実現する IoT 取引
データ基盤



DEXPF™

IoTのトラストなデータ流通を実現

クラウドやサービス間を超えて
データ連携可能なIoTデータ基盤

ソフトウェア

これまでハードウェアアプライアンスとしてのみ提供されていた EasyBlocks に、仮想アプライアンス版が新たにラインナップ

EasyBlocks Network Reporter 仮想アプライアンス

The screenshot displays the 'EasyBlocks Network Reporter' web interface. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'サービス', 'システム', 'ネットワーク', 'メンテナンス', 'AirManage', and '技術情報'. Below this, there are tabs for 'ログ表示', 'ログ統計', '基本設定', 'フィルタ設定', 'ログ管理', '証明書管理', and 'レポート'. The main content area is titled 'フィルタ設定' and contains sections for 'フィルタリングルール エクスポート/インポート' and 'フィルタリングルール設定'. The 'フィルタリングルール設定' section shows a configuration for a rule named 'template_rtx_VPN切断'. The configuration includes fields for 'ルール名(2)', '起点時刻', '終点時刻', 'ホスト(2)' (set to '192.168.10.109'), 'Facility' (with a grid of buttons including kern, user, mail, daemon, auth, syslog, lpr, news, uucp, cron, authpriv, ftp, local0, local1, local2, local3, local4, local5, local6, local7), 'Priority' (with buttons for emerg, alert, crit, err, warning, notice, info, debug), 'プログラム(2)', 'メッセージ(2)' (set to 'tunnel%Down'), and '除外メッセージ(2)'. The interface is clean and modern, with a dark header and light content area.

- Syslogサーバー及びヤマハ製ルーターに対応したレポート機能に特化
- 多拠点、複数機器のログを一括保存
- 各機器のログを可視化
- Web UIによりログ閲覧や設定作業が容易
- ネットワークの稼働状況を毎日レポート
- 容易なソフトウェアメンテナンス
Webブラウザ上で一元管理
- リモートマネジメント機能「AirManage 2」

新規領域

慶應義塾大学SFC研究所との共同研究

「サイバーフィジカルワールドを実現させるための 現実的なプロトコルの研究」

慶應義塾大学SFC研究所の村井純教授、鈴木茂哉特任教授と、IoTシステムとブロックチェーン・システムを連動させるための、現実的なプロトコルの研究・開発

研究の背景

IoT機器から生成されるデータ利活用の取り組みが進められていますが、異なるデータ形式や異なる通信方式を利用するシステム、業界を超えたIoTデータの利活用は容易ではありません。

ぷらっとホームとSFC研究所は、2020年より3年にわたり、ブロックチェーン技術をIoTに活用するための標準的なプロトコルの研究に取り組んでまいりました。

今年度を開始する新たな共同研究では、これまでの研究成果である標準的プロトコルを、さらに現実的な課題に適用し、実用段階に進めることを目指します。

新規領域

Web3技術の実装を目指す実証プロジェクト

当社のWeb3（ブロックチェーン）技術とIoTを活用したサプライチェーン管理の実証プロジェクトを開始しました。

日本酒の輸出拡大を図るための輸出物流ネットワークの構築を目指す協議会「日本酒輸出増プラットフォーム実証推進協議会」を設立し、新しい輸出物流モデル構築の実証プロジェクトを本年より開始しました。このプロジェクトは、Web3技術とIoTを活用し、輸出のサプライチェーン全体にわたる個品管理と多次元の品質トラッキングを行うと同時に、各段階の参加者に多様な参加機会を提供することにより、従来技術ではできなかった効率化・高品質化・高付加価値化を実現することを目指しています。本プロジェクトには農林水産省の補助金交付が決定しました。

協議会構成企業

- ・秋田清酒株式会社
- ・浅舞酒造株式会社
- ・合名会社栗林酒造店
- ・イーシップ株式会社
- ・ぷらっとホーム株式会社
- ・三井住友海上火災保険株式会社

プロジェクト参加専門企業

- ・三菱倉庫株式会社
- ・株式会社日立ソリューションズ
- ・協栄産業株式会社
- ・イノラックスジャパン株式会社
- ・日本ガイシ株式会社



温度検知 QR コードラベルを用いた日本酒輸出品質向上の例

Plat'Home × **IoT** × ソフトウェア・サービス

事業戦略

ソフトウェア・サービス型事業へ転換を加速

1 IoTをコア技術としたWeb3領域への参入

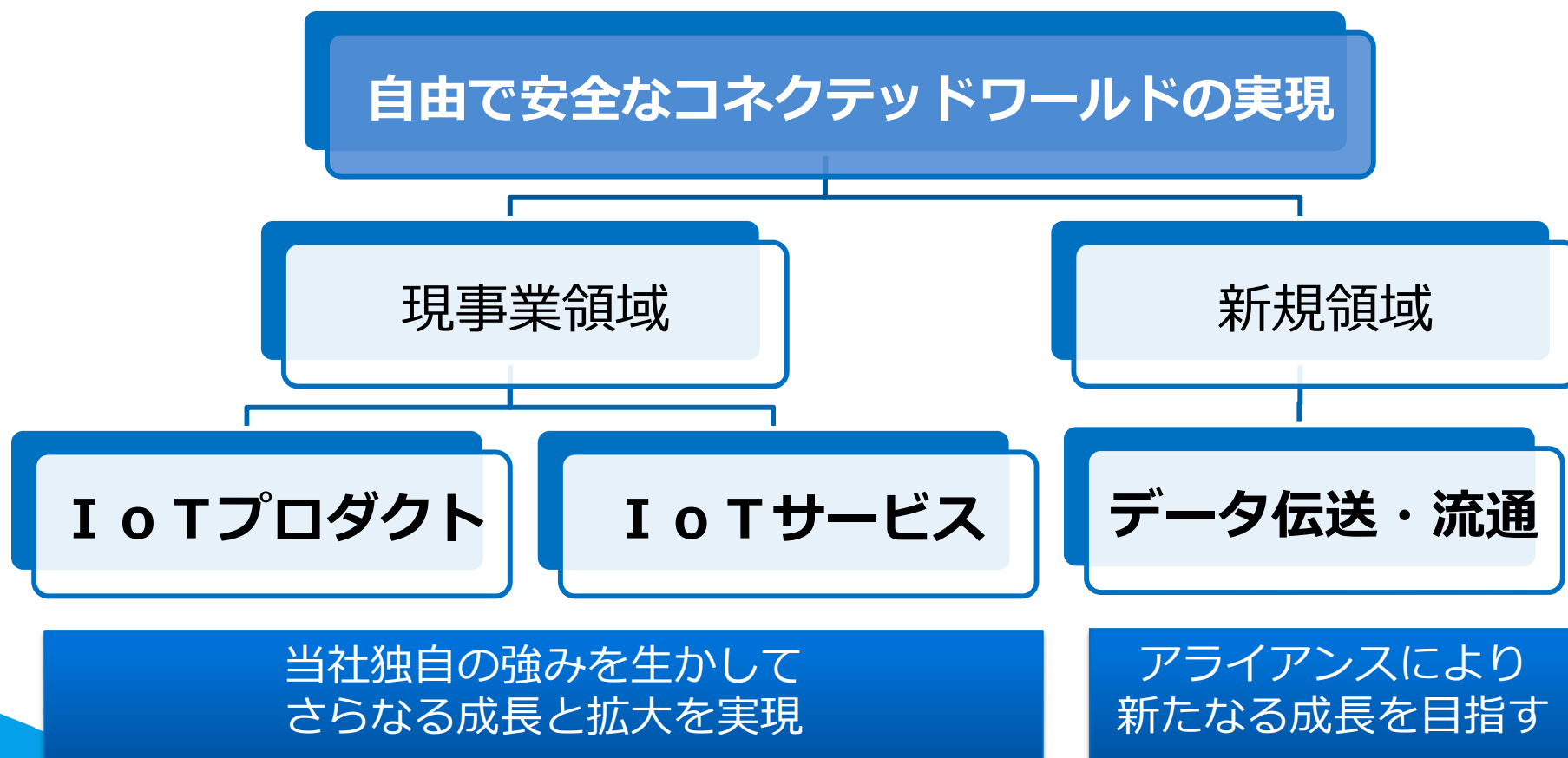
- ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入
- データ流通サービスの実証開発
- 本番運用を想定したより本格的な実証検証の実施
- アライアンスの推進
⇒「日本酒輸出増プラットフォームモデル実証プロジェクト」開始

2 ソフトウェアを源泉とした収益化

- アプライアンス製品の強化を継続
- IoTソフトウェア（Framework）による強みの拡大
⇒「Easy Blocks Network Reporter 仮想アプライアンス」提供開始

事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は3つの事業を通じて
「自由で安全なコネクテッドワールド」
の実現を目指します。



当社事業による社会貢献



環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- SDGsによって目標、ターゲットが具体的に明示されたことを機に、改めて当社事業が社会課題の解決に役立つかを整理した。当社の事業は多くの社会課題と関係し、またその解決の一助となっていることを再認識し、当社事業の進展により社会課題の解決につながることから、全社一丸で取り組む。

今後の取り組み

- 当社事業によりフィジカルワールドとサイバーワールドを結び付け、①より利便性の高い社会を実現すること（地方公共団体・電力会社・交通・物流・公共施設へのサービス提供）、②より安全な社会を実現すること（地方公共団体・教育機関・医療機関・警備・保険・セキュリティ会社へのサービス提供）、③より豊かなくらしづくりを実現すること（ビルマネジメント・ビル設備・照明システム、自動車・エネルギー・各種製造業・建設業へのサービス提供）を目標に取り組む。

業績予想

半導体の供給不足の影響が続いていることに加え、予定していた大型案件の出荷時期に遅れが生じました。また、開発を加速して市場に投入した第二世代製品の市場への浸透に時間がかかっています。

このため当事業年度の売上高については、I o T事業は647百万円、一般商材など非I o T事業は408百万円、全体で1,055百万円と当初予想に達しない見込みです。

修正した業績予想には、農水省補助金交付が決定している日本酒輸出増プラットフォームモデル実証プロジェクト関連費用と補助金収入見込み額を織り込んでいます。

	2023年 3月期	2024年3月期 業績予想			
	前期実績	当初 通期予想	修正 通期予想	増減額	増減率
売上高	994	1,278	1,055	△ 223	△ 17.4
経常利益	△ 95	11	△ 57	△ 68	—
当期純利益	△ 103	8	△ 62	△ 70	—

(単位 百万円未満切捨、%)

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

(注) スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。